

Bluetooth機能付 語学学習用 ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

型番：CDP-550N 品番：03-7250

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

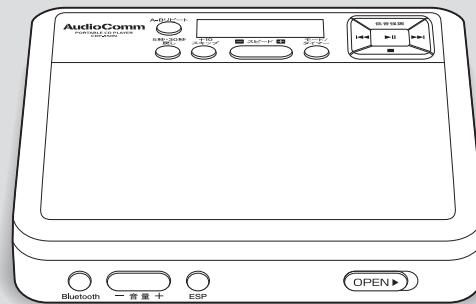
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。



このたびは、AudioComm® Bluetooth機能付
語学学習用ポータブルCDプレーヤーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前に
この取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

○OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は、修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
Bluetooth無線技術について	5~6
CDについて	7
各部の名称	8
乾電池で使うときは	9
外部電源で使うときは	9
電源のオン・オフについて	10
イヤホンで聞くときは	10
外部アクティブスピーカー(別売)に有線接続して使うときは	10
Bluetooth接続で使うときは(ペアリングのしかた)	11
CDを再生する	12~16
CD再生の基本操作	12~13
シングルリピート・オールリピート・ランダム再生	14
5秒・30秒ワンタッチプレイバック	14
再生スピードコントロール	14
A-Bリピート	15
10トラックダイレクトスキップ	15
タイマー	15
ホールド機能	16
低音強調	16
ESP機能	16
レバーミューム機能	16
故障かなと思ったら	17
お手入れのしかた	18
主な仕様	18
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
 - 本製品によって生じたデータの消失または破損
 - 本製品のために費やした時間及び経費
 - 本製品を運用した結果もたらされた損害
 - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
 - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告



使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す。外部電源で使用しているときは、USB電源コードの端子を抜く。

●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する

●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



乾電池に注意

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



分解、修理、改造しない

●火災・感電の原因になります。



心臓ベースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

! 警告	
	<p>雷が鳴りだしたら、本機やUSB電源コードに触れない ●感電の原因になります。</p>
	<p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因になります。</p>
	<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因になるようなものを置かない 本機の上に花瓶などの水が入ったものを作かない ●火災・感電の原因になります。</p>
	<p>自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因になります。</p>
	<p>車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。</p>
	<p>航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p>
	<p>本機やUSB電源コードを、布団やテーブルクロス、カーテン、新聞紙などで覆わない ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。</p>

! 注意	
	<p>乾電池を入れるときは極性表示(プラス$+$とマイナス$-$の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になります。</p>
	<p>お子様がCD扉内に手を入れないように注意する ●けがの原因になることがあります。</p>
	<p>電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波により互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因になります。</p>

! 注意	
	<p>はじめから音量を上げすぎない ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。</p>
	<p>長時間、大音量で聴き続けない ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。</p>
	<p>指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池と一緒に使わない ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。</p>
	<p>日本国外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。</p>
	<p>お手入れをするときや長期間本機を使わないときは、安全のため電源を切り、乾電池やUSB電源コードを取り外す ●感電や液もれの原因になることがあります。</p>
	<p>家庭用コンセントにて使用しているときは、接続部を定期的に掃除する ●USB-ACアダプターのプラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トランкиング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。</p>

乾電池を安全にお使いいただくために	
液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。	
	<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 火中の投入、加熱、分解をしない 取り外した乾電池を幼児に触らせない ショートさせない 直射日光や火などの過度の熱にさらさない
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ①の表示どおりに入れる 指定以外の乾電池を入れない 使用推奨期限内の乾電池を使用する 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない 使い切った乾電池はすぐに取り出す しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、オーディオシステムやパソコン、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBコードやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、Bluetooth機器(Bluetooth対応のスピーカー・イヤホン・ヘッドホンなど)との距離が最大約10m以内であれば、どこにいても無線通信によりCDの音楽や音声を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.2

【対応プロファイル】 A2DP、AVRCP

※Bluetooth機器が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

※本機はすべてのBluetooth機器との接続動作を保証したものではありません。

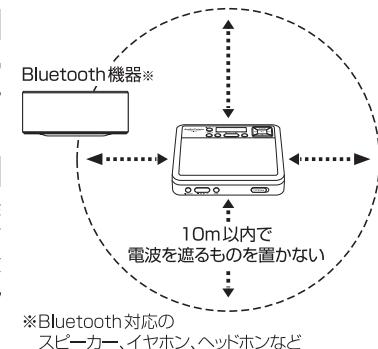
通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。

3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ベースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ベースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本製品を使わない。
 - ・コピーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ベースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

CDについて

CD規格の注意事項

- ディスクに  のマークが入ったものご使用ください。
- 本機はCD-DA(音楽CD)及びCD-R / CD-RW(MP3ディスク)の再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
 - ・CD-R / CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
 - ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。

●現在発売されている「コピーントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。

なお「コピーントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいま
すようお願い申し上げます。

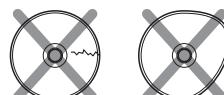

コピーントロールCD
コピーントロールCDのマーク

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

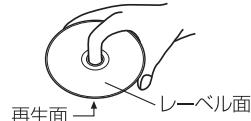


結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起ります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

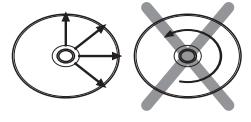
- ◆再生面に触れないように持ってください。



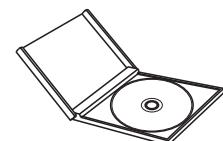
- ◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



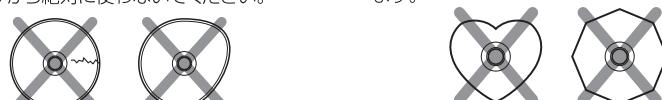
- ◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



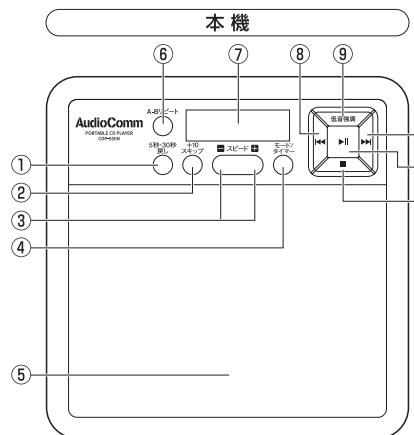
- ◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



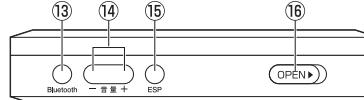
- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因になります。



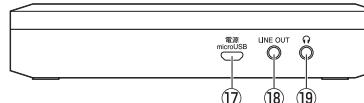
各部の名称



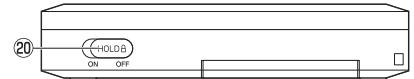
上面



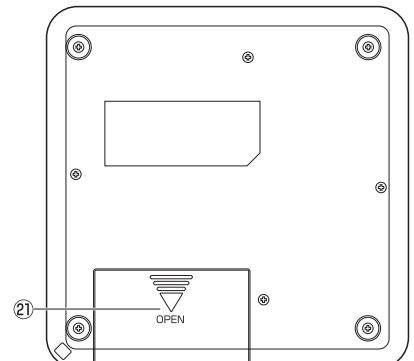
前面



左側面



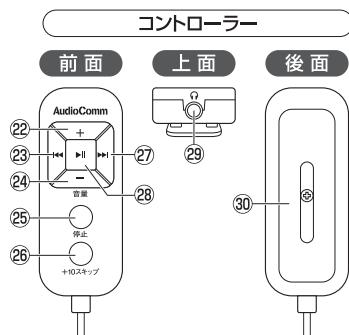
右側面



底面

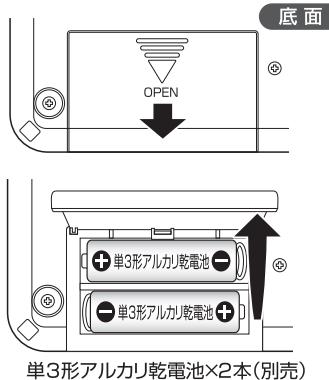
- ①5秒・30秒戻しボタン
- ②+10スキップボタン
- ③スピードボタン(−/+)
- ④モード／タイマーボタン
- ⑤CD扉
- ⑥A-Bリピートボタン
- ⑦ディスプレイ
- ⑧スキップボタン(◀▶)
- ⑨低音強調ボタン
- ⑩スキップボタン(▶▶)
- ⑪再生／一時停止ボタン
- ⑫停止ボタン
- ⑬Bluetoothボタン
- ⑭音量ボタン(−/+)
- ⑮ESPボタン
- ⑯CD扉開スイッチ
- ⑰microUSBポート(電源用)
- ⑱LINE OUT(音声出力)端子
- ⑲イヤホンジャック
- ⑳ホールドスイッチ
- ㉑電池ボックスカバー
- ㉒音量ボタン(+)
- ㉓スキップボタン(◀◀)
- ㉔音量ボタン(−)
- ㉕停止ボタン
- ㉖+10スキップボタン
- ㉗スキップボタン(▶▶)
- ㉘再生／一時停止ボタン
- ㉙イヤホンジャック
- ㉚クリップ

コントローラー



乾電池で使うときは

- 1 電池ボックスカバーの下部を押しながら矢印の方向にスライドさせた後、持ち上げて開けます。
- 2 単3形アルカリ乾電池×2本(別売)を、 $\oplus\ominus$ の向きに注意しながら図のとおりに正しく入れます。
●コイルばねのあるほうが \ominus です。 \ominus 側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。

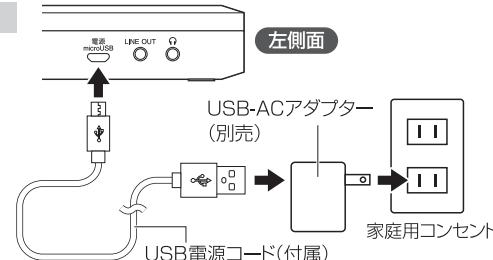


外部電源で使うときは

家庭用コンセントに接続する場合

USB-ACアダプター(別売)を介して、USB電源コードを家庭用コンセントに接続します。

- USB-ACアダプター(別売)は5V 1A以上のものをお使いください。
- 乾電池で使用していた場合、自動的に電源が切り換わります。



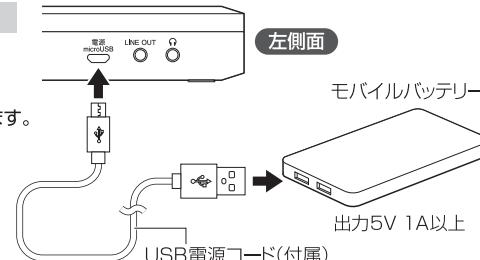
モバイルバッテリーに接続する場合

付属のUSB電源コードを使って、

本機のmicroUSBポートとモバイルバッテリーのUSBポートを接続します。

- モバイルバッテリー側は出力5V 1A以上のUSBポートに接続してください。

- 乾電池で使用していた場合、自動的に電源が切り換わります。



- 付属のUSB電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のUSB電源コードをお使いください。また、付属のUSB電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電源のオン・オフについて

電源オン…本機の再生／一時停止ボタンを押すと、電源があります。CDが正しく装着されているときは、読み込み動作の後、自動的に再生が始まります。

※コントローラーでは電源を入れることはできません。本機で操作してください。

電源オフ… 本機またはコントローラーの停止ボタンを長押しすると電源が切れます。

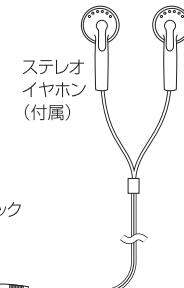
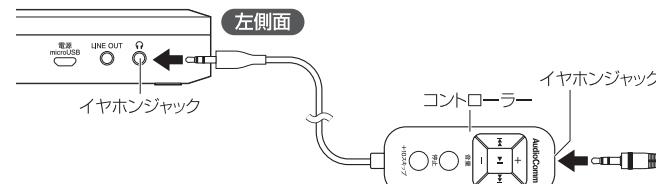
オートオフ機能…停止状態が約3分間続くと、本機は節電のため自動的に電源が切れます。

イヤホンで聴くときは

本機の電源が切れている状態で、

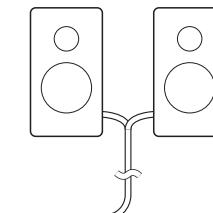
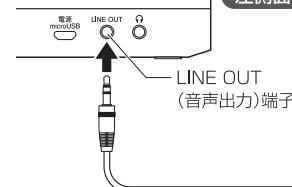
本機、コントローラー、ステレオイヤホンを下図のように接続してください。

- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行ってください。断線や破損のおそれがあります。



外部アクティブスピーカー(別売)に有線接続して使うときは

左側面



本機の電源が切れている状態で、本機と外部アクティブスピーカー(別売)を上図のように接続してください。

- 外部アクティブスピーカーの端子規格が本機のLINE OUT(音声出力)端子と異なる場合は、適合する変換アダプター(別売)を使って接続してください。

- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行ってください。断線や破損のおそれがあります。

- 外部アクティブスピーカーと有線接続した場合、音量調節は外部アクティブスピーカー側で行なってください。本機の音量ボタン(+/-)を操作するとディスプレイの音量レベル表示は上下しますが、出力自体は一定となります(音量設定が0の場合のみ消音となります)。

- 外部アクティブスピーカーに接続しているときは、イヤホン端子から同時には出力できません。

- 「再生スピードコントロール」、「低音強調」は機能しませんのでご注意ください。

Bluetooth接続を使うときは(ペアリングのしかた)

Bluetooth接続するときは、必ずペアリングが必要です。

ペアリングとは、Bluetooth機器(Bluetooth対応のスピーカー、イヤホン、ヘッドホンなど：以下、相手側機器と言います)を本機に登録し、通信を確立する操作のことです。下記の手順でペアリングしてください。

- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続中は、本機とのペアリングができないことがあります。その際は、他機との接続を解除してから行ってください。
- ペアリングが完了すると、相手側機器でも再生／一時停止、スキップ、音量調節などができるようになります。ただし、相手側機器で操作できる内容は、機器により異なります。
- 本機と一緒に接続できるのは、1つのBluetooth機器のみです。複数のBluetooth機器があり、同時にBluetooth接続しようとすると、最後に接続していた機器にペアリングされます(機種により異なる場合があります)。
- Bluetooth接続中に、本機にてBluetooth接続を解除したいときは、Bluetoothボタンを長押ししてください(「BT」マークが消えます)。

1 手元に本機と相手側機器を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 本機のLINE OUT(音声出力)端子にプラグが差込まれているときは、Bluetooth接続ができませんので、取り外してください。



相手側機器
Bluetooth対応のスピーカー・
イヤホン・ヘッドホンなど

2 相手側機器の電源を入れ、相手側機器をペアリングモードにします。

- ペアリングモードとは、Bluetooth接続が可能な機器を検索している状態のことです。相手側機器に付属する取扱説明書などを参照して操作してください。

3 本機の電源を入れた後、Bluetoothボタンを押します。

- 「BT」マークが点滅し、本機もペアリングモードになります。
- ペアリングを中止するにはBluetoothボタンを長押しして「BT」マークを消してください。



前面

4 ペアリングが完了すると、「BT」マークの点滅が点灯に変わります。

- ペアリングが完了しないまま約2分経つと、ペアリングモードがキャンセルされます。その場合はもう一度電源を入れ直し、Bluetoothボタンを押してください。

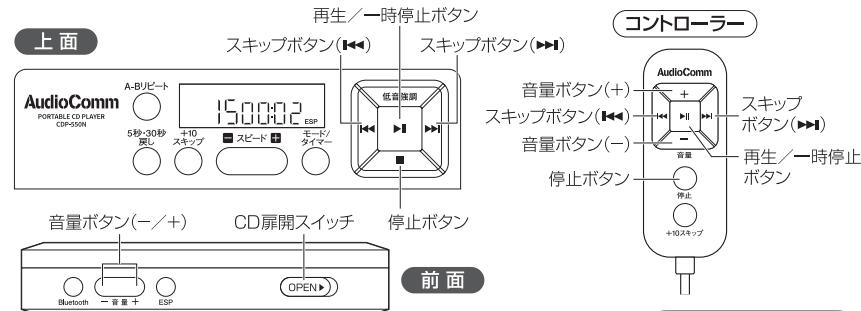
●2回目以降に接続するときも上記と同様の操作でペアリングしてください。

CDを再生する

本機ではMP3形式の音楽・音声ファイルを再生して楽しむことができますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

- MP3形式以外のファイルは再生できません。また、異なる形式のファイルが混在している場合も再生できません。
- 対応ビットレート：8～320kbps(VBR対応)
- DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
- 本機で再生できる容量は最大99フォルダー、999ファイル、8階層までです。また、1フォルダー内の最大ファイル数は99(ファイル数+フォルダー数)です。
- 本機がMP3ファイルを読み込み、再生する順序は下記のとおりです。
 1. ルート階層から順に深い階層へ。
 2. 同じ階層に複数のファイル・フォルダーがある場合、ファイル名、フォルダーナーの昇順に再生します(ただし、ディスクへの記録順やファイル名、フォルダーナーにより、異なる場合があります)。

CD再生の基本操作



1 CD扉開スイッチを右にスライドさせてから指を離し、CD扉を開けます。

2 ディスクのラベル面(印刷面)を上にして正しくセットした後、CD扉を手で閉めます。



3 再生／一時停止ボタンを押すと電源が入ります。

- 電源が入ると「60 SEC」に続いて「- -」が点滅し、ディスクの読み込みが始まります。
- 読み込みが完了すると自動で再生が始まります。



再生中のファイル番号 経過時間

●読み込みには時間がかかることがあります。

- ディスクが入っていない場合や本機の規格に適合しないディスクを入れた場合、汚れ・破損・入れ間違い(表裏逆に装着)などにより読み込みが完了できない場合は、「DISC」と表示されます。ディスクの有無や規格、状態を確認してください。

CDを再生する(つづき)

④ 音量ボタン(-/+)で音量を調節します。

- ボタンの操作に合わせて、音量レベルが約3秒間表示されます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続ければ、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。



●【コントローラー接続にてイヤホンで聴く場合】

本機及びコントローラーで音量調節が可能です。

【外部アクティブスピーカーに有線接続している場合】

外部アクティブスピーカー側で調節してください。本機では消音(音量設定0)以外の音量調節はできません。

【Bluetooth接続の場合】

本機及び相手側機器の双方で音量調節が可能ですが(相手側機器に音量調節機能がない場合は、本機でのみ操作可能)。

⑤ 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止します。

- 一時停止中は経過時間が点滅します。
- もう一度押すと再生を再開します。



⑥ 再生を止めるには、

停止ボタンを押します。

- 停止状態では右のようなディスプレイ表示になります。

CD-DAの表示例



MP3ディスクの表示例



⑦ 停止ボタンを長押しすると、ディスプレイの表示が消え、電源が切れます。

- ディスク回転中にCD扉を開け、回転しているディスクを押さえて無理に停止させると、本機が故障したり、ディスク面に傷が付くことがあります。ディスクを取り出す際は、回転が完全に停止したことを確認してください。
- ディスクを取り出すときは、回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。ディスクだけを無理に持ち上げると、本機やディスクが破損することがあります。
- 使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCD扉を必ず閉めてください。

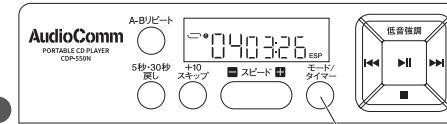
再生に関するボタン操作

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップボタン (▶◀)	次のファイルを選択	次のファイルに移動して再生	聴いているファイルが早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップボタン (◀▶)	一つ前のファイルを選択	ファイルの頭に戻って再生。2回続けて押すと、一つ前のファイルに戻って再生します。以降、押すごとに前のファイルに戻って再生します。	聴いているファイルが早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。
再生／一時停止ボタン	再生➡一時停止		
停止ボタン	再生を停止		

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

シングルリピート・オールリピート・ランダム再生

- モード／タイマーボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。
- 再生中または一時停止中に操作してください。停止中は操作できません。
- 通常の再生に戻るには、表示マークが消えるまで、モード／タイマーボタンを数回押してください。



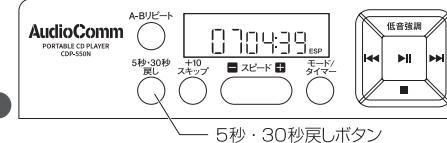
押す回数	再生モード	表示マーク
1回押す	シングルリピート：聴いているファイルを繰り返し再生	□ ①
2回押す	オールリピート：ディスク内のすべてのファイルを繰り返し再生	□ ②
3回押す	ランダム再生：ディスク内のファイルをランダムに再生	△ ③

ランダム再生は、聴いているファイルの再生が完了した後、次のファイルから始まります。

5秒・30秒ワンタッチプレイバック

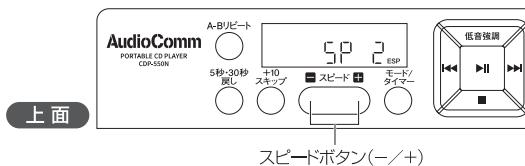
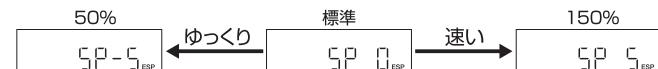
- 再生中に5秒・30秒戻しボタンを短く押すと、5秒前に戻って再生します。
- 再生中に5秒・30秒戻しボタンを長押しすると、30秒前に戻って再生します。

※再生までに時間がかかる場合があります。また、ファイルをまたいで5秒前(30秒前)に戻ることはできません。



再生スピードコントロール

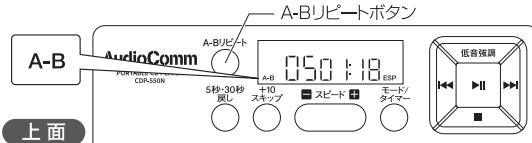
- スピードボタン(-/+)を押すと、再生スピードを調節できます。
- スピードボタン(-)を押すとゆっくりになり、スピードボタン(+)を押すと速くなります。それぞれ5段階で調節できます。
- 電源を切ると設定がリセットされ、次に電源を入れたときは初期値の「0」に戻ります。



CDを再生する(つづき)

A-Bリピート

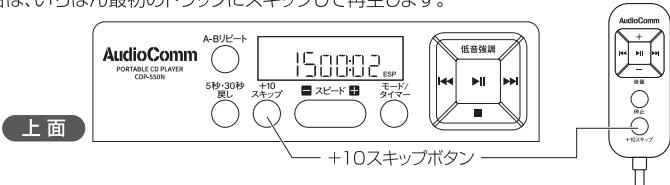
- 再生中のファイルの任意の部分をリピート再生することができます。
- A-Bリピートを開始したいところでA-Bリピートボタンを押します(A-Bリピートマークが点滅します)。その後、A-Bリピートを終了したいところで、もう一度A-Bリピートボタンを押します(A-Bリピートマークが点滅から点灯に変わり、A-Bリピートが始まります)。
- A-Bリピートを解除するには、A-Bリピート中にA-Bリピートボタンを長押ししてください。
- ※A-Bリピートが始まると同時に時間がかかる場合があります。また、曲間をまたいだ設定はできません。



10トラックダイレクトスキップ

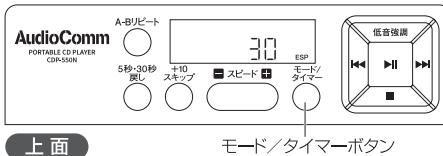
コントローラーでも操作できます。

- 再生中に+10スキップボタンを押すと、10トラック先にスキップして再生します。一度に多くのトラックをスキップして、目的のトラックを再生したいときに便利です。
- 一時停止中や停止中でも10トラック先にスキップすることが可能ですが、その場合は、再生／一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
- ※再生までに時間がかかる場合があります。
- ※残りのトラック数が10トラック未満の場合、最後のトラックにスキップします。また、最後のトラックを再生中の場合は、いちばん最初のトラックにスキップして再生します。



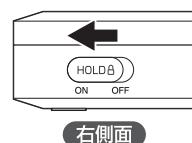
タイマー

- 自動で電源が切れるまでの時間を設定することができます。
- タイマーを設定するには、ディスプレイに「00」が表示されるまでモード／タイマーボタンを長押しし、さらに数回押して、電源が切れるまでの時間を選んでください(10分～60分まで10分単位で設定できます)。その後、もう一度モード／タイマーボタンを長押しすると、タイマー設定時間と元の表示が数回交互点滅し、設定が完了して元の表示に戻ります。



※タイマー動作時にモード／タイマーボタンを長押しすると、ディスプレイに残り時間が表示されます。
※タイマー動作中を示す表示はありません。
※タイマー設定を解除するときは、電源を切るか、上記と同じ操作で「00」を選んでください。

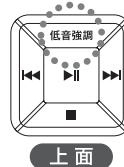
ホールド機能



- ホールドスイッチをONに合わせると、本機及びコントローラーのボタン操作ができないなり(電源ONの操作のみ可能)、かばんに入れたときなどの誤動作を防ぐことができます。
- ホールド機能が有効なときはホールドマークが表示され、任意のボタンを押すと数秒間「HOLD」が点滅します。



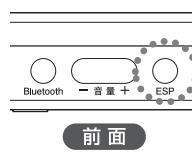
低音強調



- 低音強調ボタンを押すと、低音が強調されます(BASS)が表示されます。
- もう一度押すと解除されます。



ESP機能



- 本機には自動的に音飛びを抑えるESP (Electronic Shock Protection)機能があり、工場出荷時はONに設定されています。ESP機能が有効なときは、ディスプレイに「ESP」マークが表示されます(データ蓄積中は「ESP」マークが点滅し、十分に蓄積されると点滅が止まります)。
- 再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、ESP機能が十分に働かないことがあります。また、長時間振動が続いた場合(歩行中や動いている車内など)にも、一時的に音が途切れることができます。
- ESP機能をオフにしたいときは、ESPボタンを押して、「ESP」マークを消してください。



レジューム機能

- 本機にはレジューム機能があり、再生を停止して電源を切った後、再度電源を入れると、最後に停止した時点から再生が始まります。

※以下の場合はレジューム機能がキャンセルされます。

- ・電源を切った後、違うディスクを入れた場合
- ・再生停止後、さらに停止ボタンを1回以上押してから電源を切った場合

故障かなと思ったら

●全般

電源が入らない

- 乾電池が入っていますか。
- 乾電池の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- (USB電源コード使用時)本機のmicroUSBポートやモバイルバッテリーのUSBポート、USB-ACアダプター(別売)、家庭用コンセントなどが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
- (USBコード使用時)USBコードは付属のものを使っていますか。また、モバイルバッテリーやUSB-ACアダプター(別売)は本機の規格に合ったものをお使いですか。

再生が始まらない

- CD扉がしっかりと閉まっていますか。
- 本機の規格に合わないディスクが入っていませんか。
- ディスクが裏返しに入っていますか。
- レンズがひどく汚れていますか。
- 一時停止状態になっていますか。
- 結露していますか。
- ホールド機能が有効になっていますか。

CD-R／RWの再生ができない

- 収録したファイルは本機の規格に合ったファイル形式ですか。
- 正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか。

音が出ない

- イヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか。
- 音量が最小になっていますか。
- (外部音声出力時)接続先スピーカーの音量が最小になっていますか。

音飛びがする

- レンズが汚れていますか。
- ディスクに傷があったり、ひどく汚れていますか。
- 強い衝撃や振動のある場所で再生していますか。

再生スピードが速い(遅い)

- スピードコントロールが標準(±0)以外に設定されていますか。

ボタン操作ができない

- ホールドスイッチが「ON」になっていますか。

正常な表示や動作をしない

- 乾電池が消耗していませんか。

●Bluetooth接続時

ペアリングができない

- Bluetooth機器の電源は入っていますか。
- Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- Bluetooth機器が他の機器と接続中ではありませんか。

音が出ない

- 本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていますか。
- LINE OUT(音声出力)端子にプラグが接続されていますか。

音が途切れる

- Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- 電磁波を発する機器(電子レンジなど)や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず乾電池を取り外してください。外部電源でお使いのときはUSBコードを取り外してください。

●キヤビネットのお手入れ

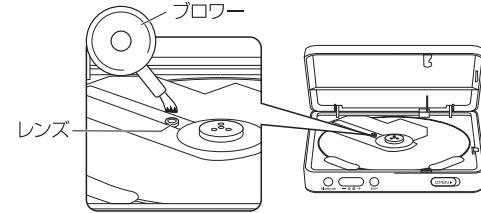
キヤビネットの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

●レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができないくなる原因になります。CD扉を開け、市販のクリーニングキットのレンズ用プロワーを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。レンズに指紋などがついている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



主な仕様

電源	DC3V 単3形アルカリ乾電池×2本(別売) 外部電源 DC5V 1A以上(USB給電 : microUSB端子)
出力端子	イヤホン出力(Φ3.5mmステレオミニプラグ) 外部音声出力(Φ3.5mmステレオミニプラグ)
実用最大出力	15mW+15mW(イヤホンジャック)
チャンネル数	2チャンネルステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz
再生可能ディスク	CD, CD-R, CD-RW / CD-DA, MP3形式
Bluetooth	通信方式 : Bluetooth標準規格 Ver.4.2 対応プロファイル : A2DP, AVRCP 出力 : Class2 最大通信距離 : 見通し 約10m 使用周波数帯域 : 2.402GHz～2.480GHz
使用時間の目安	アルカリ乾電池新品使用 イヤホン出力時 : 約8時間 Bluetooth出力時 : 約4時間
ESP音飛び防止機能	CD-DA 約60秒 MP3 約120秒
外形寸法	幅140×高さ28×奥行140mm(突起物を除く)
質量	約295g(乾電池・付属品含まず)
付属品	ステレオイヤホン、コントローラー、USB電源コード、保証書、取扱説明書

※使用時間の目安は、JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用している図版は実際の製品と一部異なる場合があります。